町の魅力ポイント4

集まった町民の声から分析する

なかいい町か！

町民一人一人の顔が見える町

子育てしやすい住みよい町

景色の美しさ

寄せられた声で圧倒的に多かったのが、景色の美しさ。三川町は山形県内で唯一山がなく、高い建物もないため、空と大地がどこまでも続く景色が見られます。その大地に広がるのが、四季に応じて変化する田園風景。夕焼け色に染まる空や水田の幻想的な美しさ、春になると町のあちらこちらに咲く桜や菜の花の色彩と、白く輝く鳥海山・月山とのコラボレーションなど、時や季節と共にさまざまな表情を見せる三川の景色は、町の宝です。

生活の利便性

庄内地方の真ん中にある三川町は、海、山、空港など、どこに行くにもアクセスが抜群です。加えて町内には、主婦の味方である新鮮野菜や手作り惣菜が豊富に並ぶショッピングセンターラコスや物産館マイデル、産直みかわがあり、日用品や食料品がそろって映画館も飲食店もある大型ショッピングモールもあるため、買い物には不自由しません。どこにでもすぐに行けて、買い物もしやすい三川は、暮らしやすくて便利な町なのです。

レジャー・憩いの場

景色、利便性ときたら、次は生活に潤いを与える「レジャー」です。まず挙げられるのが町民ならほぼ無料で借りて運動ができる町民体育館。黄金色の湯が特徴の「なの花温泉 田田」もいつもにぎわっています。すぐ近くのわんぱく広場は親子連れに大人気。さらに近年は天気に関係なく子どもが遊べる「テオトル」と、芋煮会やデイキャンプなどの屋外レジャーを楽しめる「パルク赤川」も誕生し、〝暮らしやすくて楽しい町〟に磨きをかけています。

文化・教育の質

子育て世代の移住が増えている近年。三川町では子どもたちが健やかに育つように、幼少期の子育て支援と学童・青年期の教育環境の充実に力を入れています。そのためか町民からは小学校や中学校を誇る声も多く寄せられています。生涯学習活動や芸術文化活動も活発で、福祉センターには生き生きと活動するたくさんの高齢者の姿が。各神社の祭礼行事も大切に継承されるなど、教育や伝統文化を尊重する風潮が町に根づいています。